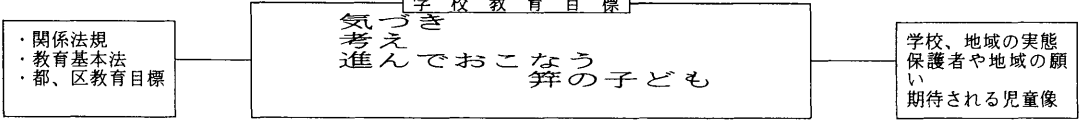


# 港区立 斧小学校

## 平成23年度 授業改善プラン



**学校経営方針（学力向上にかかわる要点）**

☆考える力、表現する力の育成のために、国語科における「話すこと・聞くこと」「話し合うこと」の基礎的指導内容を明確にし、学習展開の工夫の充実を図る。  
 ☆各教科において、自己の考えを修正したり深めたりすることのできる確かな学習活動となる指導法を工夫し積極的に取り入れる。  
 ☆個に応じた指導の充実を図るため、算数の指導においてコース別指導や個別指導を行う。  
 ☆学習過程の評価、学力テストなどの結果を分析し、児童の学力の実態を把握し、指導の改善に生かす。  
 ☆図書館に学習センターとしての機能をもたせ、個々の児童の自主的な課題解決の場とし自己学習意欲を喚起する。

**各教科の指導の重点を確実に児童に身に付けさせるため次の取り組みを行います**

**道徳教育の指導の重点**

- ◇人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を生活に生かし、社会の中で自制、自立及び協働できる「生きる力」のある児童を育成するために、その基礎としての道徳性を養う。
- ◇各教科、特別活動、総合的な学習の時間、その他の活動との関連を図りながら、自他の理解と思いやりの心を育てるための体験活動を多く取り入れ、道徳の実践力を育てる。
- ◇自然への畏敬の気持ち、文化を尊重する豊かな心、国際的視野に立って、未来を拓く主体性のある態度を育成する。

**総合的な学習の重点**

- ◇経験をもっている知識から問題を発見し、課題を設定する力を養う。
- ◇収集した資料(情報)から必要な情報を読み取り、選択し、課題を分析・追求する力を伸ばす。
- ◇新聞・ガイドブック形式やパネルセッションなど自分なりの方法で表現、創造し、相手に伝える力を育てる。
- ◇友達同士の教え合い、学び合いの調を意欲的に増やし、調べる力・まとめる力を養う。

教科名	取 組 内 容	生活指導の重点
国 語	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇スピーチや話し合い活動を通して、話し手の意図を理解して聞いたり、相手に分かりやすく、筋道を立てて話したりする力を育てる。</li> <li>◇日記・一言感想・短作文・報告文等、意図的・計画的に書く活動を通して、自分の考えが明確に相手に伝わるように、文章全体の構成に注意して書く力を育てる。</li> <li>◇朝読書・百選読破に全校で取り組み、本を読んで考えたことを発表したり、友達の感想を聞いたりする活動を通して、自分の考えを広げたり深めたりする力を育てる。</li> <li>◇辞書を使用して調べる活動を通して、語彙を増やしたり、学習した文字の正しい表記の仕方を身につけたりする等、正しい語句の使い方を置き、言語活動の充実を図る。</li> </ul>	<p>◇日々の児童とのふれあいの中から個々の児童の特性や心情を的確に捉え、一人一人に応じた指導の充実を図る。</p> <p>◇あいさつや返事、後始末など基本的な生活習慣の確立や相手を尊重する言葉づかいや態度が身に付くよう、継続性のある指導に努める。</p> <p>◇児童の学校生活や校外生活について、学校、保護者、地域関係機関が常に情報交換するようにし、学校・家庭地域が一体となって児童のよりよい生活を築くように努める。</p>
社 会	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇実際に体験する活動の機会を多くもつようにする。</li> <li>◇くり返し学習させ、知識の定着をはかる。</li> <li>◇資料が何を表しているのか、また読みとれることは何かを具体的に示し、考える活動を増やす。</li> <li>◇新聞やレポートなどの制作活動を通し、自分とのつながりや社会的現象の事実の把握や自分の考えをまとめる活動を多く実施する。</li> <li>◇PC・VTRなどの視覚覚機器を活用し、広がりのある学習活動を実施する。</li> </ul>	
算 数	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇児童の一人一人の課題を把握し、個人差に応じたコース別指導や個別指導を展開していく。</li> <li>◇具体物を用いたり、絵図、言葉、数式、表、グラフ、数直線などを用いたりしながら、問題解決の方法や結果の根拠を明らかにしていく。</li> <li>◇計算の結果を求める手段としてだけでなく、式を具体的な場面に結びつけるなど、式の表す意味に注目できるようにしていく。</li> <li>◇作図などの用具を使って作業する機会を保障し、技能を高めていく。</li> </ul>	
理 科	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ビデオやDVDソフト、インターネットなどの情報機器を活用し、児童の興味・関心をひきつけるとともに、意欲を継続させる。</li> <li>◇観察の実施や実験レポートの作成を通して、体験から学習したことを身につけさせる。</li> <li>◇実験の前に、必ず「器具の正しい使い方」「安全な実験の取り組み方」について指導を行う。</li> <li>◇実物を見る、触れるという体全体の五感を使った活動を通して、発見や感動を体験できる授業を展開する。実際に目で確かめる活動・体験を通して、もの見方や考え方を育てる。</li> <li>◇実験や観察を行う前に仮説や実験結果を予想するなど、考察する時間を確保する。</li> </ul>	
生 活	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇植物を自分で育て収穫する喜びを味わったり、生命の素晴らしさを感じたりできるようにするために、栽培計画を早めに立て、見通しを持って準備を進める。</li> <li>◇成長の様子など感じ取ったことを観察カードに具体的に記録できるようにするために、見る・音を聞く・手で触る、日付、天候など、基本的な観察ポイントを教え、記録の仕方の助言を行っていく。</li> <li>◇校外学習において、学校周辺の校園や施設を活用し、身近な場所にも様々な自然や植物があることに気付く機会を作る。</li> <li>◇計画的に自然とふれあう体験活動を多く取り入れる。</li> </ul>	
音 楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇低学年の鍵盤ハーモニカ指導では、タンギングの指導を徹底させ、運指では反復練習を行っていく。</li> <li>◇中学年で合唱においては、友達と気持ちを合わせ、お互いの声を尊重し、聴き合いながら歌うという姿勢を身に付けていく。</li> <li>◇中学年から年に一回ずつ、學の演奏体験学習を取り入れながら、日本の伝統文化についての学習を取り入れていく。</li> <li>◇高学年では、本校の特色である鼓笛演奏の活動を通し、児童相互の関わり大切さを持たせていく。</li> </ul>	
図 工	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇低学年では、五感を使った造形体験を多く取り入れ、いろいろな材料に出会わせ、発見したり、発想が広がるように授業を工夫していく。</li> <li>◇中学年では、絵の具の混色や重ね塗り、道具の扱いなどの、基本的な技術指導を計画的に行っていく。更に、造形的な体験を増やし、発見したり、発想が広がるように授業を工夫していく。</li> <li>◇高学年では、「自分らしい表現とは」を考えさせ、計画段階で個別指導すると共に、発表の場を設け意欲の持続を図る。</li> </ul>	
家 庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇技能経験に個人差が見られるので、制作や調理等の実践的・体験的な活動を多く取り入れ、基礎的な技能を身につけさせる。</li> <li>◇互いに学び教え合う場を設定し、家庭生活への意識を高め合うようにさせる。</li> <li>◇学んだことを家庭でも実践するよう働きかけ、家庭生活をよりよくしようとする態度を育てる。</li> </ul>	
体 育	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇体力向上のために、学習カードなどを用意し、目標を設定させ、進んで運動に取り組めるようにしていく。</li> <li>◇準備運動の中に支持感覚・バランス感覚を養う動きを意図的に取り入れ、継続的に身体感覚を養っていく。</li> <li>◇保健指導では、養護教諭との連携を図り、計画的に行っていく。</li> <li>◇コミュニケーション活動を活発にするため、既習言語の定着を図る活動を増やす。</li> <li>◇児童の理解が進んでいない場合、委託会社を通してNTTに伝え、授業改善を図る。</li> <li>◇クラスルームイングリッシュの数を増やし、簡単な指示が分かるようにする。</li> </ul>	
国際科	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇児童の理解が進んでいない場合、委託会社を通してNTTに伝え、授業改善を図る。</li> <li>◇クラスルームイングリッシュの数を増やし、簡単な指示が分かるようにする。</li> </ul>	

**進路指導の重点**

- ◇全教育活動を通して、自分を見つめ、個性や能力・適性など自らの良さを自覚し、未来への希望を育む。
- ◇様々な人々との関わり合いを深める体験や活動を通して、これからの生き方を考えるとともに、未来への夢を育てる。
- ◇各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間を使って指導する。

**本校の授業改善に向けた視点**

教育課程編成上の工夫	指導方法・指導体制の工夫	評価活動の工夫	校内における研究や研修の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> <li>○斧朝読書タイムを実施し、読書に親しむ時間を増やす。</li> <li>☆年17回土曜日に授業を実施するとともに、毎回4時間授業を実施し、時数確保に努める。</li> <li>○毎月ごとの時数管理を徹底し、適切な実施に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体験的・問題解決学習を重視し積極的に授業改善に取り組む。</li> <li>○少人数学習や習熟度別学習を実施し、個に応じたきめ細やかな指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆教科書改訂にともない、単元に沿った、評価規準の作成を行う。</li> <li>○プレテスト及び小テスト等を適切に行い、学力の定着を確認しながら指導を進める。</li> <li>○児童による自己評価・相互評価を取り入れ、授業内の評価活動を工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆主体的に行動できる児童を目指して、副主題を「自分の考えを表現する活動を通して」に変更し、年間7回の研究授業を行う。</li> <li>☆9月には高陵中学校及び本村小学校との三校交流事業として、本校の全学級の授業公開を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○年3回、学校公開を実施する。(土曜日を含む)</li> <li>○学校便り、学年便り、ホームページにより、適時適切に情報提供を行う。</li> <li>○高陵地区委員会と連携し、地域活動への参加協力をする。</li> </ul>